

毛呂山中だより

第 5 号

令和5年7月20日

学校教育目標 「夢をもち世界にはばたく毛呂山のこども
自ら学び 共感し 行動できる生徒」

〒350-0465 入間郡毛呂山町岩井西4-12-1 TEL049-294-0019

＜夏休みはなぜ長いのか？＞

校長 上原 英樹

令和5年度の70日間にわたる1学期も本日で終了となります。重大な事故や事件に生徒が巻き込まれることもなく、無事に1学期を終えることができ、教職員一同ほっとしております。また、保護者・地域の皆様にも本校生徒を温かく見守っていただきありがとうございました。明日からの夏季休業期間は、教職員が生徒の様子を見届けることが難しくなります。引き続き生徒見守りへのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

さて、最近の新聞記事で「夏休みはなぜ長いのか？」という小学生からの質問にとても丁寧に答えている記事がありましたので、内容を抜粋してご紹介したいと思います。夏休みが長い理由は、大きく分けて3点。①暑いから②ヨーロッパのまねをしたから③子どもたちに日本の季節と文化を味わってほしいからだそうです。まず①は日本の7～8月はとても暑い。元気いっぱいの生徒が集まる教室はさらに暑くなります。これだけ暑いと勉強に集中できないので一番暑い時期を休みにしているのです。普通教室にはエアコンがありますが、理科室や美術室などの特別教室や体育館にはエアコンがありません。近年は高温になる日も多く、熱中症の危険性も高まっています。教室の中は涼しくても登下校中や体育館、運動場などは灼熱。勉強に集中できないだけでなく、健康を保つためにも暑い時期は休みになっています。②はヨーロッパには夏に長い休みを取る文化・風習がある国が多く、中には3カ月も休みになる所もあるそうです。日本は明治5年（1872）に今の学校制度につながる「学制」が公布され、それまでは寺子屋や藩の塾などで学んでいた子どもたちが、全国で統一された制度による学校に通い始めました。この学制を制定する際、参考にしたのがフランス。長い休みという意味の「バカンス」も、もとはフランス語。ここで夏に長期で休む文化も入ってきたとされています。③日本には『お盆』という文化があります。お盆には家族や親せきで集まったり、お墓参りをしたりして、家族やご先祖様とのつながりを感じることができます。また、虫捕りをしたり、海水浴に行ったりと、学校ではあまりできない季節や自然を感じる体験をしてほしいと考えています。また、何もすることがなくて、『何をしようか』と自ら考える時間を過ごすことも大切な経験だと思います。最近の中学生は学校だけでなく、さまざまな習い事もあって、毎日、忙しく過ごしています。長い休みだからこそ、普段はできないことを体験し、何もないならば、ぼーっとすることも人生にとって貴重な瞬間だと思います。今年の夏は学校以外のさまざまな思い出を作る時間を大切にしてください。

《生徒・保護者の皆様へ》

産休に入られる先生が2名おり、現在のところ代替教員が確保できていない状況です。代替教員や2学期からの授業方針については、詳細が決定次第、ご連絡いたします。ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。